



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月10日

上場会社名 株式会社 日本マイクロニクス 上場取引所 東
 コード番号 6871 URL <https://www.mjc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 正義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 齋藤 太 TEL 0422-21-2665
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	28,456	—	6,376	—	6,663	—	4,598	—
2020年12月期第3四半期	23,700	—	1,874	—	1,953	—	1,617	—

- (注) 1. 包括利益 2021年12月期第3四半期 5,518百万円 (—%) 2020年12月期第3四半期 1,956百万円 (—%)
 2. 2020年12月期は決算期変更により15ヶ月決算となっておりますので、対前年四半期増減率については記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	120.25	119.98
2020年12月期第3四半期	42.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	46,472	30,672	65.7
2020年12月期	39,191	25,772	65.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 30,550百万円 2020年12月期 25,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	0.00	—	27.00	27.00
2021年12月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	—	—	58.00	58.00

- (注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 配当予想の修正については、本日（2021年11月10日）公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,300	—	8,000	—	8,300	—	7,400	—	193.50

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正については、本日（2021年11月10日）公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。
 2. 2020年12月期は9月決算から12月決算へ決算期変更により、当社は15ヶ月、連結子会社は18ヶ月の変則決算となっております。このため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	40,025,316株	2020年12月期	40,025,316株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	1,614,467株	2020年12月期	1,868,075株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	38,243,381株	2020年12月期3Q	38,157,276株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2021年11月10日に当社ホームページへ掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

前第3四半期連結累計期間は決算期変更の経過期間となることから、決算日が9月30日であった当社は9ヶ月間(2019年10月1日～2020年6月30日)、決算日が6月30日であった連結子会社は12ヶ月間(2019年7月1日～2020年6月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同期増減率については記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの変異株による感染拡大が個人消費や雇用の回復に重石となりましたが、ワクチン接種の普及により個人消費を中心に経済が下支えされるとみられております。ただ、国や地域により景況感にバラツキがみられること、引き続きヒト・モノの移動制限が多いことなどから、依然として不透明な状況となっております。

このような環境の中、半導体市場におきましては、東南アジア地域での新型コロナウイルス感染拡大により、半導体サプライチェーンの混乱が続いており、短期的には半導体供給不足に伴う生産制約の影響は厳しく、自動車、パソコン、スマートフォン等の生産に影響しております。今後こうした一時的な要因は徐々に解消に向かうと思われませんが、半導体の構造的な需要の底堅さと生産能力増強には時間が掛かるため、来年にかけてもタイトな状況が続く可能性が高く、半導体メーカーの増産対応を後押ししております。また、今後もアフターコロナを見据えたデジタル投資等のトレンドに変化はなく、半導体市場の成長は続くと思われております。

FPD市場においては、巣ごもり需要の影響により、ノートパソコン、スマートフォン、タブレット、モニター等の需要拡大が続いて来ましたが、パネル価格の一服感に加え今後は新型コロナウイルス感染症の収束により需要の減速が懸念されております。

このような事業環境において、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、サーバー及びモバイルメモリ向けの需要が堅調に推移し、全体的なメモリ向けプローブカードが底堅く推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高28,456百万円、営業利益6,376百万円、経常利益6,663百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益4,598百万円となりました。

<セグメントの状況>

(各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。)

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① プローブカード事業

売上高は、引き続きデータセンター関連やモバイル分野での需要が堅調であることから、メモリ向けプローブカードが好調に推移いたしました。利益面においても、高水準な受注により安定した稼働が続いたことに加え、プロダクトミックスの変化により堅調な利益水準となりました。

この結果、売上高は26,877百万円、セグメント利益は7,858百万円となりました。

② TE事業

売上高は、プローブユニットが安定的なビジネスを継続しました。また、特定顧客向けの半導体関連装置を売上げました。

この結果、売上高は1,579百万円、セグメント損失は14百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ7,280百万円増加し、46,472百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,760百万円、たな卸資産が1,235百万円、投資有価証券が898百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,380百万円増加し、15,800百万円となりました。これは主に、流動負債の「その他」に含まれる前受金が639百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が1,503百万円、賞与引当金が875百万円、未払法人税等が607百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,900百万円増加し、30,672百万円となりました。これは主に、利益剰余金が3,568百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが属する半導体、FPD市場の直近の市場環境及び動向を踏まえ、2021年8月11日に公表した2021年12月期通期連結業績予想を見直し、開示いたしました。詳細につきましては、本日(2021年11月10日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、緊急対策本部を本社(東京都)及び各拠点に立上げ、影響を最小限に抑えるべく、各国政府や自治体の要請への協力を徹底することに加え、継続して対応を進めております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,412	16,172
受取手形及び売掛金	7,348	8,096
製品	275	597
仕掛品	2,700	3,561
原材料及び貯蔵品	1,208	1,262
その他	730	1,000
貸倒引当金	△2	△8
流動資産合計	25,673	30,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,418	3,526
機械装置及び運搬具(純額)	3,072	3,136
その他(純額)	2,790	3,784
有形固定資産合計	9,281	10,447
無形固定資産	1,045	1,005
投資その他の資産		
投資有価証券	2,501	3,400
退職給付に係る資産	129	115
その他	722	996
貸倒引当金	△162	△174
投資その他の資産合計	3,190	4,338
固定資産合計	13,518	15,790
資産合計	39,191	46,472
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,502	6,005
短期借入金	1,254	869
未払法人税等	626	1,234
賞与引当金	694	1,569
役員賞与引当金	92	—
製品保証引当金	484	399
その他	2,748	2,297
流動負債合計	10,403	12,375
固定負債		
長期借入金	411	529
退職給付に係る負債	1,979	1,986
その他	624	908
固定負債合計	3,016	3,424
負債合計	13,419	15,800

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,018	5,018
資本剰余金	5,705	5,909
利益剰余金	14,980	18,549
自己株式	△1,663	△1,437
株主資本合計	24,041	28,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,405	2,073
為替換算調整勘定	7	295
退職給付に係る調整累計額	177	141
その他の包括利益累計額合計	1,590	2,509
新株予約権	141	122
純資産合計	25,772	30,672
負債純資産合計	39,191	46,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	23,700	28,456
売上原価	15,758	16,013
売上総利益	7,942	12,442
販売費及び一般管理費	6,067	6,066
営業利益	1,874	6,376
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	20	23
受取賃貸料	59	42
受取報奨金	27	38
為替差益	—	145
その他	35	44
営業外収益合計	158	307
営業外費用		
支払利息	10	6
支払手数料	5	7
休止固定資産減価償却費	1	—
為替差損	58	—
保険解約損	—	4
その他	3	1
営業外費用合計	78	20
経常利益	1,953	6,663
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	154
新株予約権戻入益	209	0
特別利益合計	209	156
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	7	0
事業構造改革費用	123	—
特別損失合計	130	0
税金等調整前四半期純利益	2,033	6,819
法人税、住民税及び事業税	398	2,203
法人税等調整額	17	17
法人税等合計	416	2,220
四半期純利益	1,617	4,598
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,617	4,598

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,617	4,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	450	667
為替換算調整勘定	△61	287
退職給付に係る調整額	△50	△35
その他の包括利益合計	338	919
四半期包括利益	1,956	5,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,956	5,518

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、2021年3月31日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式10,783株を処分いたしました。また、同決議に基づき、当社の従業員に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式189,400株を処分いたしました。さらに、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、自己株式54,300株を処分いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が204百万円増加し、自己株式が226百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が5,909百万円、自己株式が1,437百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自2019年10月1日至2020年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	プローブ カード事業	T E 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,235	1,464	23,700	—	23,700
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	22,235	1,464	23,700	—	23,700
セグメント利益	3,347	82	3,429	△1,555	1,874

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,555百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2021年1月1日至2021年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	プローブ カード事業	T E 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,877	1,579	28,456	—	28,456
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	26,877	1,579	28,456	—	28,456
セグメント利益又は損失 (△)	7,858	△14	7,844	△1,468	6,376

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,468百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。